

体育における学習意欲に関する基礎的研究

A Study on Achievement Motivation for Learning in Physical Education

西田 保*

Tamotsu NISHIDA *

This study was mainly aimed at obtaining the basic data concerning achievement motivation for learning in physical education. The subjects were 387 teachers and 739 students belonging to elementary, junior high, and high schools, respectively. The contents of the questions were as follows : 1) behavioral characteristics of pupils who were assumed to be highly motivated to learning in physical education, 2) conditions to arouse the achievement motivation, 3) learning strategy in physical education, and 4) the type of pupils with high achievement motivation.

The teachers considered the behavioral characteristics of the highly motivated pupils as being deep interest in the learning, diligence and seriousness, curiosity, etc. On the other hand, the students regarded these as being the desire for excellence, curiosity, diligence and seriousness, etc. For both teachers and students, the main conditions to arouse achievement motivation were the experiences of joy and delight, admiration in good achievement, competition, and the playing of interesting or favorite sports. Observation and imitation of highly skilled pupils were examples of the learning strategy in physical education. Several types of pupils such as "effort", "ability", and "competitive" types, having high achievement motivation for learning in physical education, were derived from the contents of the free answers from the teachers.

目的

体育においては、各種の運動に自発的、積極的に取り組み、運動技能の学習を一定の卓越した水準にまで到達させようとする意欲が重要である。それは、意欲を持って運動するかどうかで能率が違い、理解度が違い、獲得のされ方が異なってくるからである。

「学習意欲」あるいは「やる気」といった日常語を説明する概念として、下山²¹⁾、宮本¹³⁾、西田^{15), 17), 18)}は、「達成動機づけ」をあげている。達成動機づけとは、価値目標を卓越した水準で達成しようとする行動の動機づけであり、達成志向場面において成功することを求める、失敗することを避けようとする行動を説明する概念である。達成動機づけに関する諸研究によれば、達成動機づけの高い者は低い者と比較して、①目標や

課題を達成するために積極的に努力する、②目標達成に有効な方法や情報に敏感である、③自己の遂行結果について積極的な関心や態度を示す、④目標達成に対して持続的な遂行行動をとる、⑤自主性や自律的傾向が強い、⑥努力すれば達成可能な目標や課題を好む、⑦到達すべき将来の目標に対して長期的な展望を持つ、などの傾向が強いとされている^{1), 2), 6), 10), 12)}。そこで、本研究では、体育における学習意欲を説明する理論の中核として達成動機づけを位置づけ、体育における学習意欲とは、「体育における学習活動を自発的、積極的に推進させ、それらの学習を一定の卓越した水準にまで到達させようとする内発的動機づけ」であると暫定的に定義しておくこととする。

さて、①運動やスポーツ場面での意欲およびやる気を測定、あるいは構成する要因^{9), 16), 19), 23)}、②教師および生徒の自由記述からみた運動技能を

*名古屋大学総合保健体育科学センター

*Nagoya University, Research Center for Health, Physical Fitness and Sports.

学習しようとする意欲の高い子の特徴¹⁸⁾、③達成動機づけの概念および構成因子^{4), 5), 10), 14), 21)}、④達成動機づけを測定する際に取りあげられた要因^{7), 11), 20), 22)}、⑤達成動機づけの高い者の行動特徴^{3), 5), 6), 12)}、などに関する研究を概観してみると、体育における学習意欲は、様々な要因によって構造化されたものであると考えられる。図1に示した構造図は、それらの研究を検討し、KJ法⁸⁾を手がかりとして整理し分類したものである。この構造図の基本的な考え方は、一般的な達成傾向を意味する達成動機づけが、何らかの要因によって体育学習に方向づけられて体育における学習意欲になるという点にある。このような考え方は、やる気あるいは学習意欲の構造を捉えようとした西田^{15), 17)}や下山²¹⁾の見解と一致している。

達成動機づけを体育学習へ方向づける要因には、学習興味や学習に対する価値観などがあげられる。そして、学習意欲によって表出される行動特徴としては、挑戦的学習、学習方法の工夫などが考えられる。また、行動の結果（成功・失敗）に対しては、その原因を自己評価することになる。この原因帰属の仕方が体育学習への方向づけや表出された行動に影響していき、循環的な関係を示すことになるであろう。さらに、表出された行動や行動結果の評価に対して、冷静さ、素直さ、知的能力などの要因が関係してくることも予測される。

本研究では、体育における学習意欲にかかわる様々な研究や問題を推進あるいは解決するために、体育における学習意欲を達成動機づけの立場から構造的に把握し、(1)教師および生徒が考える体育における学習意欲の高い子の特徴、(2)教師および生徒が捉えている体育における学習意欲の高まる条件、(3)体育学習を効果的に行うための生徒の学習ストラテジー、(4)教師が把握している体育における学習意欲の高い子のタイプ、について検討されることとなった。

方 法

1. 調査対象者

調査の対象は、愛知県内の小学校、中学校、高

等学校に勤務する専任教師計387名と、名古屋市内の小学校4年生から高校3年生に至る児童・生徒計739名である。表1、2には有効回答者の内訳が、学校種別、学年別および男女別に示されている。

表1 調査対象者（教師）

	人 数	年齢(平均)	教職年数 (平均)
小 学 校	1 3 1	32.4	9.6
中 学 校	1 2 2	30.3	8.4
高 校	1 3 4	33.2	11.0
計	3 8 7		

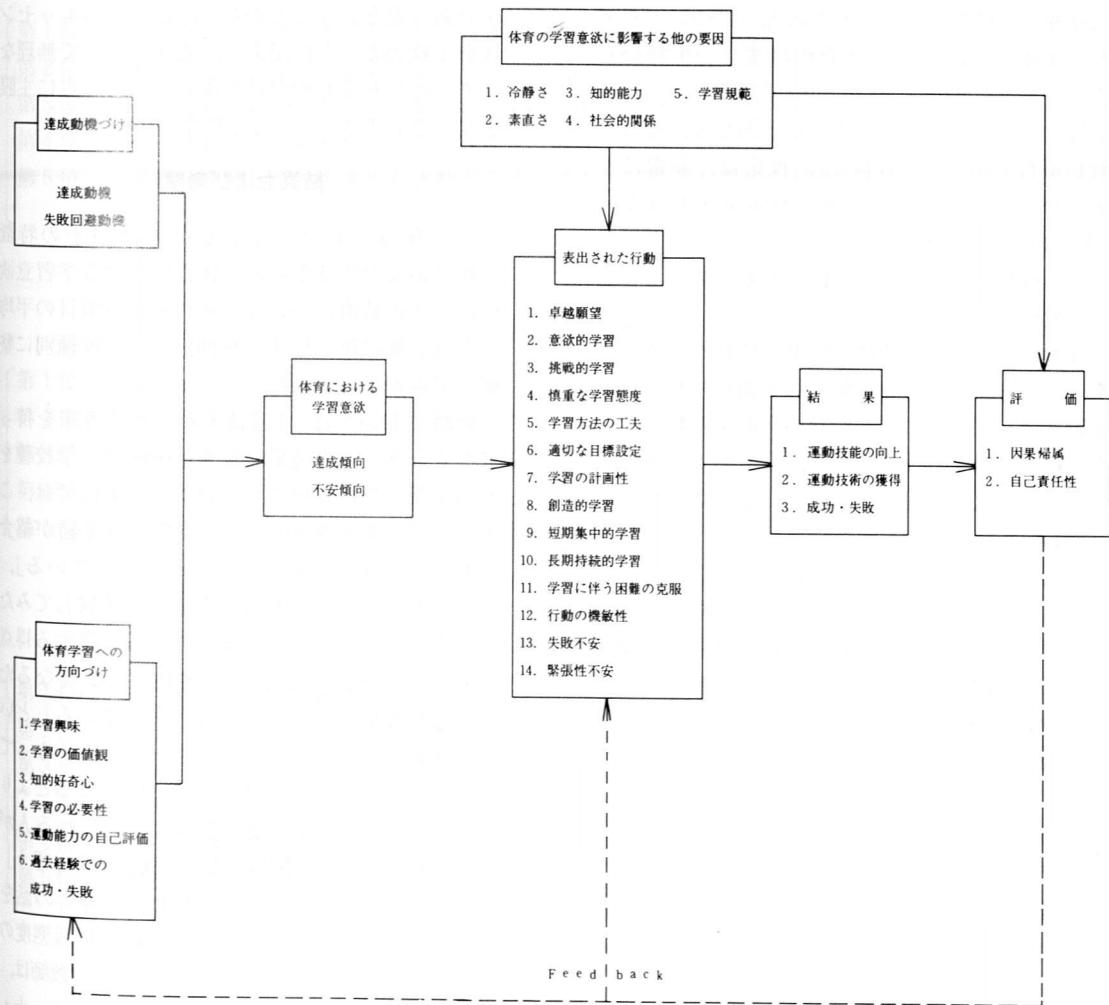
表2 調査対象者（生徒）

学校	学年	性		計
		男 子	女 子	
小 学 校	4 年	4 0	3 6	7 6
	5 年	3 8	3 4	7 2
	6 年	3 9	3 7	7 6
	小 計	1 1 7	1 0 7	2 2 4
中 学 校	1 年	2 0	6 1	8 1
	2 年	6 8	2 1	8 9
	3 年	1 9	6 5	8 4
	小 計	1 0 7	1 4 7	2 5 4
高 校	1 年	4 4	4 4	8 8
	2 年	4 2	4 5	8 7
	3 年	3 4	5 2	8 6
	小 計	1 2 0	1 4 1	2 6 1
計		3 4 4	3 9 5	7 3 9

2. 調査内容

(1) 体育における学習意欲の高い子の特徴（教師、生徒）

調査項目は、図1に示した構造図の中の「体育学習への方向づけ」、「表出された行動」、「評価」、「体育の学習意欲に影響する他の要因」に該当する27要因に対して、それぞれ2項目ずつ含まれた計54項目である（資料1）。それぞれの項目に対する応答は、教師および生徒が、体育における学習意欲の高いと思われる児童・生徒の特徴を評価



するものであり、非常にあてはまる「7」から全くあてはまらない「1」までの7段階であった。

(2) 体育における学習意欲の高まる条件（教師、生徒）

教師に対しては、「児童・生徒が体育の授業中に積極的に学習しようとする状況」についてたずね、生徒については、「体育の授業で一生懸命やろうと思った時の状況」について調査した。質問項目は、教師、生徒ともほとんど同じで、それぞれ45項目であった（資料2）。反応は、非常にやる気がおきる「7」から全くやる気がおきない「1」までの7段階であった。

(3) 体育学習を効果的に行うためのストラテジー（生徒）

体育における学習活動を効果的に行うためのストラテジーが、生徒を対象として調べられた。調査形式は、30項目のそれぞれの質問文に対して、非常にあてはまる「7」から、全くあてはまらない「1」までの7段階で応答するものであった（資料3）。

以上、(1), (2), (3)の調査項目は、図1の体育における学習意欲の構造を立案する際に取りあげられた文献や体育学習への動機づけに関する研究、さらには、本研究の先行研究である教師および児童・生徒の自由記述の結果¹⁸⁾などに基づいて作成された。

(4) 体育における学習意欲の高い子のタイプ（教師）

体育の授業における学習意欲の高い子のタイプ（型）について、自由記述法で調査された。調査対象は教師だけであった。

3. 調査方法

教師に対しては、各学校種200名を無作為に抽出し、郵送法で回答を求めた。有効回収率は64.5%であった。生徒に対する調査は、依頼した各学校の担任教師によってなされ、その後に調査票を回収する形で実施された。

4. 調査時期

1985年5月から7月にかけて調査された。

5. 調査結果の整理

調査内容の(1), (2), (3)に関しては、それぞれの

評定尺度上の数字が得点として与えられた（例：非常にあてはまる…7点）。ただし、(1)の項目番号19, 20, 33, 46, 47は反転して得点化された（例：非常にあてはまる…1点）。

調査内容の(4)については、調査形式が自由記述法であったということから、記述内容のエッセンスを1枚のカードに記入し、意味のうえで無理なくまとめられるものだけを集めるという点に主眼を置いたKJ法⁸⁾によって整理された。

結果および考察

1. 体育における学習意欲の高い子の特徴

教師および生徒からみた体育における学習意欲の高い子の特徴について、それぞれの項目の平均点の高い順に第5位までを抽出し、学校種別に整理してみた（表3）。

教師においては、「運動することに興味を持っている」といった運動に対する興味が、学校種を問わず第1位にあげられている。小学校では、このような運動興味のほかに、「新しい運動が紹介されると、すぐにやってみたいと思っている」、「どんな運動でも、おもしろそうで経験してみたいと思っている」などの知的好奇心に関する得点が高い。中学校になると、「運動がうまくなるために必要な助言は、素直に受け入れている」といった体育学習における素直さの得点が高くなっている。このような傾向は、高校になるとより強く示され、「自分の技術をのばしてくれる人がいるなら、その人の指導に従って練習すると思う」といった素直さのほかに、「先生や指導者の話をしっかりと聞いている」というまじめな学習態度の内容を示す項目の得点も高くなっている。教師は、体育における学習意欲の高い子の特徴として、小・中・高を通して「運動に対する興味」を共通に重視し、特に小学校ではこれ以外に「知的好奇心」を、中・高校になると「素直でまじめな学習態度」といったものを重くみていることが推定される。

一方、生徒の場合は、小・中・高に共通して平均得点の高い項目は、「一生懸命練習して、人よりも運動がうまくできるようになりたいと思っている」といった卓越願望に関するものである。

表3 教師および生徒からみた体育における学習意欲の高い子の特徴

〔教師からみた場合〕

		小 学 生	N = 131	項目番号	平均点
第1位	運動することに強い興味を持っている。			2 8	6.28
第2位	運動の時間が近づくと、楽しくてうきうきしている			1	6.00
第3位	新しい運動が紹介されると、すぐにやってみたいと思っている			3	5.94
第4位	どんな運動でも、おもしろそうで経験してみたいと思っている			3 0	5.77
第5位	一生懸命練習して、人よりも運動がうまくできるようになりたいと思っている			7	5.73
		中 学 生	N = 122	項目番号	平均点
第1位	運動することに強い興味を持っている			2 8	6.00
第2位	運動がうまくなるために必要な助言は、素直に受け入れている			2 4	5.89
第3位	体育の授業中、自分からすんで練習することが多い			8	5.84
第4位	新しい運動が紹介されると、すぐにやってみたいと思っている			3	5.80
第5位	運動の時間が近づくと、楽しくてうきうきしている			1	5.70
		高 校 生	N = 134	項目番号	平均点
第1位	運動することに強い興味を持っている			2 8	5.84
第2位	運動がうまくなるために必要な助言は、素直に受け入れている			2 4	5.75
第3位	自分の技術をのばしてくれる人がいるなら、その人の指導に従って練習すると思う			5 1	5.66
第4位	先生や指導者の話をしっかり聞いている			5 4	5.52
第5位	体育の授業中、自分からすんで練習することが多い			8	5.51
		全 体	N = 387	項目番号	平均点
第1位	運動することに強い興味を持っている			2 8	6.04
第2位	運動がうまくなるために必要な助言は、素直に受け入れている			2 4	5.78
第3位	新しい運動が紹介されると、すぐにやってみたいと思っている			3	5.74
第4位	運動の時間が近づくと、楽しくてうきうきしている			1	5.66
第5位	体育の授業中、自分からすんで練習することが多い			8	5.66

表3 教師および生徒からみた体育における学習意欲の高い子の特徴（続き）

〔生徒からみた場合〕

		小 学 生	N = 224	項目番号	平均点
第1位	一生懸命練習して、人よりも運動がうまくできるようになりたいと思っている			7	6.18
第2位	新しい運動が紹介されると、すぐにやってみたいと思っている			3	5.89
第3位	どんな運動でも、おもしろそうで経験してみたいと思っている			3 0	5.74
第4位	たとえ運動がうまくできなくとも、途中であきらめないでうまくできるようになるまで頑張っている			4 4	5.61
第5位	運動が上手になるためには、あせらずに何回も繰り返し練習している			1 6	5.59
		中 学 生	N = 254	項目番号	平均点
第1位	一生懸命練習して、人よりも運動がうまくできるようになりたいと思っている			7	5.55
第2位	新しい運動が紹介されると、すぐにやってみたいと思っている			3	5.47
第3位	自分の技術をのばしてくれる人がいるなら、その人の指導に従って練習すると思う			5 1	5.23
第4位	運動が上手にできるということは、非常に大切だと考えている			2	5.20
第5位	運動することに強い興味を持っている			2 8	5.20
		高 校 生	N = 261	項目番号	平均点
第1位	一生懸命練習して、人よりも運動がうまくできるようになりたいと思っている			7	5.28
第2位	自分の技術をのばしてくれる人がいるなら、その人の指導に従って練習すると思う			5 1	5.10
第3位	日頃から運動がうまくできるようにならなければならないと思っている			4	5.01
第4位	運動が上手にできるということは、非常に大切だと考えている			2	5.01
第5位	運動がうまくなるために必要な助言は、素直に受け入れている			2 4	5.00
		全 体	N = 739	項目番号	平均点
第1位	一生懸命練習して、人よりも運動がうまくできるようになりたいと思っている			7	5.65
第2位	新しい運動が紹介されると、すぐにやってみたいと思っている			3	5.35
第3位	運動が上手にできるということは、非常に大切だと考えている			2	5.23
第4位	どんな運動でも、おもしろそうで経験してみたいと思っている			3 0	5.23
第5位	自分の技術をのばしてくれる人がいるなら、その人の指導に従って練習すると思う			5 1	5.22

のほかに、小学生では、教師と同様の「新しい運動が紹介されると、すぐにやってみたいと思っている」、「どんな運動でも、おもしろそうで経験してみたいと思っている」といった知的好奇心を示す項目の得点が高い。中学生では、「自分の技術をのばしてくれる人がいるなら、その人の指導に従って練習すると思う」といった素直さの項目もこれらのはかに高くなっている。高校生になると、卓越願望や素直さ以外に、「日頃から運動がうまくできるようにならなければならないと思っている」、「運動が上手にできるということは、非常に大切だと考えている」といった運動技能を学習することの必要性や重要性などの価値観を示す項目の得点が高くなっている。このように、生徒は、小・中・高とも「卓越願望」が共通して高く、このほかに小学生では「知的好奇心」が高く、中・高校生になると「素直さ」や「学習価値観」などの項目が高くなっている。児童・生徒は体育における学習意欲の高い子の特徴を、このような側面から捉えていることがうかがえる。また、小学生は「知的好奇心」を重視し、中・高校と加齢について「学習に対する素直さ」が重くみられている傾向は、教師の場合と同様であった。

2. 体育における学習意欲の高まる条件

表4には、教師および生徒からみた体育における学習意欲の高まる条件（状況）が、平均得点の高い順に第5位まで示されている。

まず、教師からみた場合には、「うまくできた時のうれしさや喜びを感じさせる」、「うまくできた時にはほめてやる」、「ゲームや試合を取り入れて指導する」、「一生懸命努力したことを認めてやる」といった項目が、小・中・高を通して共通に高くなっている。つまり、体育の授業中に生徒を意欲的にさせる教師の働きかけ（指導）としては、「うまくできた時のうれしさや喜びを感じさせ、その時にはほめてやり、ゲームや試合を適度に取り入れ、努力したことを見せてやること」が、小・中・高を問わず大切であると考えられる。

生徒の場合は、「興味のある好きな運動をやらせてもらえる時」、「自分の得意な運動をやる時」、

「うまくできた時のうれしさや喜びを感じた時」の得点が、小・中・高とも高くなっている。また、中・高校生においては、「全員で楽しくやれるような雰囲気の時」といった項目得点が高くなっている。加齢に伴うグループ学習での意欲の喚起が推察される。このように、教師、生徒とも内発的動機づけの重要性を指摘しており、学習者の内的欲求に基づいた達成目標に対して、主体的な取り組みを促進させるような指導法を確立していくことが極めて重要であり、この点は今後に残された大きな課題であると言える。

3. 体育学習を効果的に行うためのストラテジー

体育における学習活動を効果的に行うためのストラテジーについて、平均得点の高い順に第5位までを示したのが表5である。

小学生から高校生に至るまで共通して第1位に示されたのは、「うまくできる人のやり方をよく観察している」であった。また、「うまくできる人にやり方やこつを教えてもらっている」、「うまくできる人のやり方をまねるようにしている」という項目も、小・中・高に共通して得点が高かった。小学生、中学生では、「先生の説明や注意をよく聞くようにしている」という項目の得点が高くなっていた。これらの項目に共通する内容は、観察学習あるいはモデリングというものである。つまり、児童・生徒は、体育の授業中、運動がうまくできるようになるための手段として、教師やうまくできる人の手本（モデル）をよく観察し、模倣し、そして説明などを注意深く聞くようにしているということである。従って、指導者としての小・中・高の教師は、学習しようとする運動の正しい模範（示範）を示し、児童・生徒が十分に理解できるような説明を適切に与えることが重要であると言える。なお、学習ストラテジーには個人差があるように思われる所以、学習意欲の高い者あるいは低い者はどのような学習ストラテジーをとるのかについて、今後検討していく必要がある。

表4 教師および生徒からみた体育における学習意欲の高まる条件（方法）

〔教師からみた場合〕

		小 学 生	N = 131	項目番号	平均点
第1位	うまくできた時のうれしさや喜びを感じさせる			3	6.51
第2位	うまくできた時にはほめてやる			5	6.34
第3位	ゲームや試合を取り入れて指導する			8	6.16
第4位	一生懸命努力したことを認めてやる			15	6.05
第5位	個人の能力にあった目標や運動を与える			1	5.91
		中 学 生	N = 122	項目番号	平均点
第1位	うまくできた時のうれしさや喜びを感じさせる			3	6.49
第2位	うまくできた時にはほめてやる			5	6.30
第3位	ゲームや試合を取り入れて指導する			8	6.12
第4位	一生懸命努力したことを認めてやる			15	5.96
第5位	個人の能力にあった目標や運動を与える			1	5.91
		高 校 生	N = 134	項目番号	平均点
第1位	うまくできた時のうれしさや喜びを感じさせる			3	6.17
第2位	うまくできた時にはほめてやる			5	6.02
第3位	興味のある好きな運動をやらせる			9	5.90
第4位	ゲームや試合を取り入れて指導する			8	5.86
第5位	一生懸命努力したことを認めてやる			15	5.75
		全 体	N = 387	項目番号	平均点
第1位	うまくできた時のうれしさや喜びを感じさせる			3	6.34
第2位	うまくできた時にはほめてやる			5	6.22
第3位	ゲームや試合を取り入れて指導する			8	6.04
第4位	一生懸命努力したことを認めてやる			15	5.92
第5位	興味のある好きな運動をやらせる			9	5.86

表4 教師および生徒からみた体育における学習意欲の高まる条件（方法）（続き）

〔生徒からみた場合〕

〈小 学 生〉 N=224

項目番号 平均点

第1位	興味ある好きな運動をやらせてもらえる時	9	6.70
第2位	自分の得意な運動をやる時	4 4	6.58
第3位	うまくできた時のうれしさや喜びを感じた時	3	6.50
第4位	人よりもうまくできるようになった時	2 6	6.43
第5位	うまくできて人からほめられた時	5	6.38

〈中 学 生〉 N=254

項目番号 平均点

第1位	興味のある好きな運動をやらせてもらえる時	9	6.46
第2位	うまくできた時のうれしさや喜びを感じた時	3	6.40
第3位	自分の得意な運動をやる時	4 4	6.17
第4位	全員で楽しくやれるような雰囲気の時	1 0	6.08
第5位	うまくてきて人からほめられた時	5	6.04

〈高 校 生〉 N=261

項目番号 平均点

第1位	興味のある好きな運動をやらせてもらえる時	9	6.14
第2位	うまくできた時のうれしさや喜びを感じた時	3	6.00
第3位	自分の得意な運動をやる時	4 4	5.79
第4位	自信をもってやれる運動をする時	2 0	5.70
第5位	全員で楽しくやれるような雰囲気の時	1 0	5.67

〈全 体〉 N=739

項目番号 平均点

第1位	興味のある好きな運動をやらせてもらえる時	9	6.42
第2位	うまくできた時のうれしさや喜びを感じた時	3	6.29
第3位	自分の得意な運動をやる時	4 4	6.16
第4位	全員で楽しくやれるような雰囲気の時	1 0	5.99
第5位	うまくてきて人からほめられた時	5	5.98

表5 生徒からみた体育学習を効果的に行うためのストラテジー

		項目番号	平均点
〈小 学 生〉 N = 224			
第1位	うまくできる人のやり方をよく観察している	1 3	5.87
第2位	先生の説明や注意をよく聞くようにしている	1 2	5.70
第3位	うまくできる人にやり方やこつを教えてもらっている	1	5.69
第4位	注意された点をよく守っている	9	5.69
第5位	うまくできる人のやり方をまねるようにしている	1 8	5.65
〈中 学 生〉 N = 254		項目番号	平均点
第1位	うまくできる人のやり方をよく観察している	1 3	5.20
第2位	うまくできる人にやり方やこつを教えてもらっている	1	5.12
第3位	何回も繰り返し練習している	2	4.98
第4位	うまくできる人のやり方をまねるようにしている	1 8	4.98
第5位	先生の説明や注意をよく聞くようにしている	1 2	4.96
〈高 校 生〉 N = 261		項目番号	平均点
第1位	うまくできる人のやり方をよく観察している	1 3	5.16
第2位	うまくできる人にやり方やこつを教えてもらっている	1	5.07
第3位	うまくできる人のやり方をまねるようにしている	1 8	4.89
第4位	うまくできる方法を先生や友達に聞いている	7	4.85
第5位	人からの指導を素直にうけとめようとしている	2 1	4.84
〈全 体〉 N = 739		項目番号	平均点
第1位	うまくできる人のやり方をよく観察している	1 3	5.39
第2位	うまくできる人にやり方やこつを教えてもらっている	1	5.21
第3位	うまくできる人のやり方をまねるようにしている	1 8	5.15
第4位	先生の説明や注意をよく聞くようにしている	1 2	5.14
第5位	何回も繰り返し練習している	2	5.12

4. 体育における学習意欲の高い子のタイプ

体育における学習意欲の高い子には、いくつかのタイプが存在しているのではないかと考え、教師を対象に自由記述法で調査した。記述内容をKJ法に従って分類し整理したのが資料4である。これによると、様々なタイプが報告されているが、頻度順位の高いものとしては、目標達成のために黙々と努力する「努力型」、体力に恵まれ運動能力が高く、上達のはやい「能力型」、まじめで人の話をよく聞く「規範型」、仲間を励ましたり指導したりできる「集団型」、うまくできる方法を

考えて工夫したり模倣する「思考型」、身体を動かすことの好きな「興味型」、負けず嫌いで競争心の旺盛な「競争型」、記録や目標に挑戦し好奇心の旺盛な「探索型」などがあげられる。このほかに、「集中型」、「質問型」、「即行型」、「自己顯示型」、「明朗型」、「特定種目型」、「活動型」、「経験型」、「個人型」、「承認期待型」といったタイプが得られている。また、これらのタイプを体育学習の目的、学習者の内的要因および行動特徴によって分類すると、表6のようになるであろう。このように、一口に学習意欲と言っても様々なタイ

表6 教師の自由記述によって明らかにされた体育における学習意欲のタイプ

(N = 326)

1. 運動学習の目的からみたタイプ

- (1)興味型……体を動かすことが好きで、運動することの楽しさを知っている。
- (2)承認期待型……教師や友人から承認されることを望んでいる。
- (3)特定種目型……好きな運動や得意な運動だけ頑張っている。
- (4)自己顯示型……自己主張するために運動し、目立ちたがっている。

2. 学習者の内的要因からみたタイプ

- (1)明朗型……明朗快活で、陽気である。温和で楽天家でもある。
- (2)能力型……体力に恵まれ運動能力が高い。上達も早く、何をやらせても万能である。
- (3)経験型……過去に運動する機会に恵まれ、運動経験が豊富である。
- (4)規範型……人の話をよく聞き、まじめである。準備や後片づけもきちんと行う。
- (5)競争型……負けず嫌いで、競争心が旺盛である。勝負好きである。

3. 学習者の行動特徴からみたタイプ

- (1)質問型……教師や友人にやり方や不明な点を聞く。いろいろと質問することが多い。
- (2)活動型……活動的で、活発によく動く。元気がよく、外向的である。
- (3)思考型……うまくできる方法をいろいろと工夫する。上手な人の運動をよく観察し、模倣する。
- (4)即行型……考えることよりも行動を優先させる。実践家である。
- (5)努力型……目標達成のために、黙々と練習を続ける。ねばり強く努力家である。
- (6)集中型……我を忘れて熱中できる。短期間にエネルギーを集中できる。
- (7)集団型……仲間を励ましたり、指導したりできる。友人が多く、人間関係も良好である。
- (8)個人型……自分なりの考え方へ従って、物事を解決していこうとする。
- (9)探索型……記録や目標に挑戦する。好奇心も旺盛である。

があり、小・中・高の教師は体育における学習意欲のタイプを多面的に把握していることが理解される。従って、今後はこのような学習意欲のタイプを測定できる尺度を開発し、それぞれのタイプに適した学習意欲を高める指導法（適性処遇交互作用）を開発していくことが必要である。

本研究の資料収集については、愛知教育大学附属名古屋小学校の川口 啓先生、平和が丘小学校の板倉節子先生、猪子石中学校の井上利春先生、名古屋大学教育学部附属中学校・高等学校の宮田学先生、昭和高等学校の小木曾照行先生には多大の御配慮を頂き、各学校の皆さんにも御協力を頂いた。また、愛知県下の諸先生方には快く調査をお引き受け願えた。ここに記して深く感謝致します。

引用・参考文献

- 1) Atkinson, J. W., An introduction to motivation, Van Nostrand Co.: New York, 1964. Pp.335.
- 2) Atkinson, J. W. and Feather, N. T. (Eds.), A theory of achievement motivation, John Wiley and Sons, Inc.: New York, 1966. Pp.392.
- 3) Atkinson, J. W. and Raynor, J. O. (Eds.), Motivation and achievement, Winston and Sons, Inc.: Washington, 1974. Pp.479.
- 4) Crandall, V. J., "Achievement," in Stevenson, H. W. et al. (Eds.), Child Psychology, NSSE, 1963. pp.416-59.
- 5) 林 保 (編), 達成動機の理論と実際, 誠信書房, 1967. Pp.169.
- 6) 林 保・山内弘継, 達成動機の研究, 誠信書房, 1978. Pp.221.
- 7) Herrenkahl, R. C., "Factor-analytic and criterion study of achievement orientation," Journal of Educational Psychology, 63 : 314-26, 1972.
- 8) 川喜田二郎, 発想法, 中央公論社, 1977.
- 9) 松田岩男他 7名「スポーツ選手の心理的適性に関する研究」第1報、第2報、昭和55年度日本体育協会スポーツ科学研究報告、日本体育協会スポーツ科学委員会、1981。
- 10) McClelland, D. C., Atkinson, J. W., Clark, R. A., and Lowell, E. L., The achievement motive, Appleton-Century-Crofts, Inc., 1953.
- 11) Mehrabian, A., "Measures of achieving tendency," Educational and Psychological Measurement, 29 : 445-51, 1969.
- 12) 宮本美沙子 (編), 達成動機の心理学, 金子書房, 1979. Pp.206.
- 13) 宮本美沙子, やる気の心理学, 創元社, 1981. Pp. 230.
- 14) Murray, H. A., Explorations in personality, Oxford Univ. Press, 1938.
- 15) 西田 保「やる気」の構造と行動特性 新体育, 50-9 : 18-23, 1980.
- 16) 西田 保・猪俣公宏「スポーツにおける達成動機の因子分析的研究」体育学研究, 26-2 : 101-10, 1981.
- 17) 西田 保「やる気」を科学する—学習意欲をのばす指導について—体育科教育, 30-4 : 14-18, 1982.
- 18) 西田 保「児童・生徒の自由記述法からみた運動技能学習意欲」総合保健体育科学, 8-1 : 25-45, 1985.
- 19) Pezer, V. and Brown, M., "Will to win and athletic performance," International Journal of Sport Psychology, 11-2 : 121-31, 1980.
- 20) Simoyama, T., "A validity study of a scale to measure achievement motivation," Japanese Psychological Research, 16-4 : 197-204, 1974.
- 21) 下山 剛, 「学習意欲の育て方」 品川不二郎 (編), 子供の意欲を育てる心理学, あすなろ書店, 1980. pp.99-127.
- 22) 達成動機研究会 (宮本美沙子他) 達成動機づけ測定に関する研究の動向, 教育心理学年報, 第16集, 117-33, 1977.
- 23) Tutko, T. and Tosi, U., Sports psyching, Tarcher Los Angeles, 1976. pp.217-24.

(昭和61年1月4日受付)

資料1 体育における学習意欲の高い子の特徴を調べる項目

選 択 肢

全くあてはまらない	あてはまらない
あまりあてはまらない	あまりあてはまらない
どちらともいえない	どちらともいえない
ややあてはまる	ややあてはまる
あてはまる	あてはまる
非常にあてはまる	非常にあてはまる

7 6 5 4 3 2 1

あなたの学校には、体育の授業中、人よりうまく運動ができるようになろうと一生懸命頑張っている人が何人かいることでしょう。

以下の項目を読んで、その人の考え方や行動に最もよくあてはまるところの数字を選んで、右側の□の中に記入して下さい。

- 運動の時間が近づくと、楽しくてうきうきしている。
- 運動が上手にできるということは、非常に大切だと考えている。
- 新しい運動が紹介されると、すぐにやってみたいと思っている。
- 日頃から運動がうまくできるようにならなければならないと思っている。
- どんな運動でも、たいてい人より上手にできる方だと思っている。
- 人よりもうまく運動ができて、ほめられることが多かった。
- 一生懸命練習して、人よりも運動がうまくできるようになりたいと思っている。
- 体育の授業中、自分から進んで練習することが多い。
- どれだけ運動がうまくできるようになるか、力の限り挑戦している。
- やり方などをよく理解してから、運動するようにしている。
- どうすればうまくできるか、あれこれと考えながら運動している。
- 運動する時には、自分なりに目標を決めて練習するようにしている。
- 学習計画をきちんと立てて、運動するようにしている。
- 運動がうまくできるようになるために、自分だけにあった練習方法を考えている。
- ある運動を学習する時には、集中的に練習することが多い。
- 運動が上手になるためには、あせらずに何回も繰り返し練習している。
- 運動がうまくできるようになるためには、どんな障害があっても乗り切ることができる。
- 運動する時は、いつもきびきびと動いている。
- うまくできないのではないかと心配で運動をさけることがある。
- 人の前で運動する時は、気を使いすぎてうまくできなくなることが多い。
- 運動がうまくできるようになったのは、自分が一生懸命努力したからだと思っているようだ。
- 運動がうまくできるようになるのは、その時の運によるのではなく、自分自身の能力や努力によるのだと思っているようだ。
- 運動中に失敗しても、あわてることなく冷静である。
- 運動がうまくなるために必要な助言は、素直に受け入れている。
- 運動している時、うまくできたり、うまくできなかつた原因をすぐに見つけることができる。
- チームで運動をする時、同じグループになった人とは誰とでも仲よく運動できる。
- 体育の授業中、きめられたことをきちんとmajimeに練習している。
- 運動することに強い興味を持っている。
- 運動がうまくできることは、勉強がよくできることと同じくらい重要だと思っている。
- どんな運動でも、おもしろそうで経験してみたいと思っている。
- 一生懸命練習して、運動が上手にできるようにならなければならないと思っている。
- 人よりも、運動神経がよいと思っている。
- 今まで、運動してもなかなか上手にならないことが多かった。
- できるような運動でも、もっと練習してさらにうまくなるとしている。
- 新しい運動を教えてもらう時には、人よりも先に立って練習している。
- 練習すればどれだけうまくできるようになるか、ためして

- みたいと思っている。
37. あせらず、ひとつひとつていねいに運動するようにしている。
38. 体育の授業では、上手にできる人のまねをするなど、いろいろと工夫している。
39. 運動する時の目標は、自分の力よりも少し上のところに設定している。
40. 学習することが決まれば、自分なりの計画を立てることが多い。
41. うまくなるためには、人がまねできないような新しいやり方も考えてみたいと思っている。
42. 時にはまわりのことが気にならないほど、運動に熱中することがある。
43. 体育の時間では、人よりも多く何回も練習するように心がけている。
44. たとえ運動がうまくできなくても、途中であきらめないで、うまくできるようになるまで頑張っている。
45. 体育の時、人よりもすばやく行動するようになっている。
46. 運動する前から、失敗することばかり考えているようだ。
47. 人に見られると、すぐに緊張して思うように運動できないようだ。
48. 記録がのびなかったり、なかなか上達しないのは、能力や素質ではなく、努力不足によると思っているようだ。
49. 運動がなかなか上達しない場合、その責任は自分にあると思っているようだ。
50. 運動がうまくできなくても、いらいらしたりせずに心を平静に保っているようだ。
51. 自分の技術をのばしてくれる人がいるなら、その人の指導に従って練習すると思う。
52. 失敗しても、次にどうすればうまくできるようになるかがすぐにわかる。
53. 体育の授業で、嫌いな人がチームの中にいたとしても楽しく運動することができる。
54. 先生や指導者の話をしっかり聞いている。

資料2 体育における学習意欲の高まる条件を調べる項目

選択肢

全くやる気が起きない	やる気が起きない	どちらともいえない	まあやる気が起きる	やる気がおきる	非常にやる気が起きる
2	1	3	4	5	6

- 生徒用……あなたは、体育の授業で、運動がうまくできるようになるために、一生懸命やろうと思うのはどんな時ですか。どんな場合にやる気（意欲）がおこりますか。以下の項目を読んであてはまるところの数字を選んで、右側の□の中に記入して下さい。
- 教師用……体育の授業において、児童・生徒が運動技能を積極的に学習しようとするのは、教師がどのようなはたらきかけをした時でしょうか。一般的に言ってどのようなはたらきかけをすれば、子供達の意欲（やる気）が高まると思われますか。以下の項目を読んで、あてはまるところの数字を右側の□の中に記入して下さい。

() 内は生徒用の項目

- 個人の能力にあった目標や運動を与える（与えられた時）。
- 個別あるいは能力別に指導する（指導された時）。
- うまくできた時のうれしさや喜びを感じさせる（感じた時）。
- グループごとに仲間と協力して学習（練習）させる（学習する時）。
- うまくできた時にはめてやる（ほめられた時）。
- 学習内容や目標を具体的にはっきりと示す（示された時）。

- 記録をとって、どれだけうまくなかったのかがわかるようになる（された時）。
- ゲームや試合を取り入れて指導する（授業された時）。
- 興味のある好きな運動をやらせる（やらせてもらえる時）。
- 全員で楽しくやれるような雰囲気をつくる（雰囲気の時）。
- 教師も生徒と一緒にになって運動する（先生が自分達と一緒に運動してくれる時）。

12. やさしい運動からむずかしい運動へと段階をおって指導する（された時）。
13. 競争を取り入れて指導する（された時）。
14. いつもとは違った新しい学習方法で指導する（された時）。
15. 一生懸命努力したことを見てやる（認められた時）。
16. 教師と生徒との心のふれあい（人間関係）を大切にする（先生と心のふれあいが感じられる時）。
17. 授業中の運動時間を多くする（が多い時）。
18. 生徒の体調や気分をよくするように努める（体の調子や気分がよい時）。
19. 努力すればできそうな目標や運動を与える（与えられた時）。
20. 自信を持ってやれるような運動を行わせる（する時）。
21. 運動したあとで、フォームや記録を知らせる（知らせてもらった時）。
22. 教師が模範演技をみせる（みせてくれる時）。
23. 運動の出来ばえを早いうちに正しく評価する（してもらった時）。
24. その日の目標や記録、教師の評価などを記入するようになった「学習カード」を使って授業をすすめる（うける時）。
25. 運動することの意義や大切さを教える（教えてもらった時）。
26. 人よりもうまくできるようにしてやる（できるようになった時）。
27. ある程度は、生徒達が自由にやれる時間を設ける（時間のある時）。
28. 補助などをして、運動する時の恐怖心を取り除いてやる（取り除いてもらった時）。
29. 運動する用具や施設を整備する（されている時）。
30. やり方や説明がよくわかるように、ていねいに教える（教えてもらった時）。
31. 良い点や悪い点をはっきり教える（はっきりさせてもらった時）。
32. うまくできる方法をいろいろと教える（教えてもらった時）。
33. 差別せずに平等に教える（教えてもらった時）。
34. 教師が生徒の気持ちや考え方をよく理解する（先生が自分達の気持ちや考え方をよくわかってくれた時）。
35. 人前で運動する場合のように、ある程度緊張した場面を設定する（緊張してやるような時）。
36. 生徒に期待をかけてやる（先生が期待をかけてくれた時）。
37. 教師が一生懸命教える（教えてくれる時）。
38. 自己の長所をのばすような指導をする（された時）。
39. みんなで力を合わせてやることが大切だと教える（教えてもらった時）。
40. 身近な話題やニュースを取り入れて授業する（された時）。
41. 教師や友達が励ましてあげる（先生や友達から励まされた時）。
42. 基礎的な技術を中心に指導する（教えてもらう時）。
43. 人ができて自分がうまくできないような状況をつくる（うまくできない時）。
44. その人が得意な運動をやらせる（自分の得意な運動をやる時）。
45. まわりの人が一生懸命頑張るようにさせる（みんなが一生懸命頑張っている時）。

資料3 体育における学習を効果的に行うためのストラテジーを調べる項目

あなたは、体育の授業中、運動がうまくできるようになるために、どのような行動をとるようになりますか。あてはまるところの数字を選んで右側の□の中に記入して下さい。

1. うまくできる人にやり方やこつを教えてもらっている。
2. 何回も繰り返し練習している。
3. 緊張せずに、できるだけリラックスして運動している。

4. 自分よりうまい人と一緒に練習している。
5. 特に基礎的な技術をしっかりと身につけようと考えている。
6. 失敗したことなどは全く考えないようにしている。

選択肢	全くあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ややあてはまない	あてはまる	非常にあてはまる
4.	7	6	5	4	3	2
5.						
6.						

7. うまくできる方法を先生や友達に聞いている。
8. うまくできるようになるまであきらめないで、根気よく統
けている。
9. 注意された点をよく守っている。
10. 集中的に練習している。
11. うまくできない所を特にたくさん練習している。
12. 先生の説明や注意をよく聞くようにしている。
13. うまくできる人のやり方をよく観察している。
14. とにかくがむしゃらに頑張っている。
15. うまくできる方法を自分なりに工夫している。
16. 本やテレビでうまくできるやり方を調べるようにしている。
17. やる気を出して意欲的に取り組んでいる。
18. うまくできる人のやり方をまねるようにしている。
19. 人から悪い所を指摘してもらう。
20. たとえうまくできなくても、あわてないようにしている。
21. 人からの指導を素直にうけとめようとしている。
22. 自分はうまくできるんだと思いこむようにしている。
23. 理想のフォームを頭の中で何回も繰り返して覚えるように
している。
24. 友達と教えあいながら運動している。
25. うまくできない原因をよく考えるようによっている。
26. 自信のある運動から順にやろうとしている。
27. わからない時は、先生や友達に聞いている。
28. 過去のよくにた運動と結びつけて練習している。
29. 計画を立てて練習している。
30. 自分なりの目標を持って練習している。

資料4 教師の自由記述からみた体育における学習意欲のタイプ

タ イ プ (型)		内 要	小学校 (N=113)	中学校 (N=101)	高 校 (N=112)	計(N=326)
努力型	努力持続型	黙々と練習を続ける。ねばり強い。努力家。	40	40	32	112
	地道努力型	コツコツと努力する。	2		2	114
能力型	高能力型	体力に恵まれ運動能力が高い。上達が早い。万能。	52	21	37	110
	知識豊富型	運動に関する知識や情報が豊富。		1	1	2
規範型	まじめ型	勤勉。忠実。話をよく聞く。素直。	22	30	32	84
	準備・後片づけ型	準備や後片づけをきちんと行う。	4	6	6	16
	責任感型	責任感が強い。		2	1	3
集団型	人間関係良好型	友人多い。協調。励まし合い。思いやり。ムードメーカー。	9	16	8	33
	指導型	リーダー的存在。仲間に引っ張る。仲間にアドバイス。	11	13	17	41
	対教師良好型	教師との接触。教師を信頼。	1	2	1	4
思考型	工夫型	工夫。計画性。研究心旺盛。	10	7	3	20
	模倣型	上手な人の模倣と接触。	6	2	9	17
	観察型	手本となる運動をよく観察する。	3	7	7	17
	熟慮型	冷静。慎重。落ちつき。	7		2	9
	失敗原因理解型	失敗原因の理解と追求。反省。	2	2	2	6
	試行錯誤型	試行錯誤。		2		2
	創造型	創造性。			1	1
興味型	運動好き型	体を動かすことが好き。運動興味。	21	20	23	64
	エンジョイ型	運動の楽しさを知る。		3	3	6
競争型	負けず嫌い型	負けん気。勝気。くやしがり屋。	11	14	17	42
	競争心旺盛型	勝負好き。ライバル意識。ゲーム中心。	2	6	6	14
探索型	挑戦型	記録や目標への挑戦。チャレンジ精神。	10	9	6	25
	好奇心旺盛型	探求心。好奇心。	2	3	9	14
	目標追求型	目標設定と達成。目的意識。	3	6	3	12
	新鮮味追求型	新しいものへの追求。	1	1		2
	知的興味型	本などを読んで研究する。			1	1
集中型	集中型	熱中。無我夢中。集中。	12	10	13	35
	一気発散型	一気発散。	2	1	2	5
	闘志型	闘争心。ファイト。	2		1	3

資料4 教師の自由記述からみた体育における学習意欲のタイプ（続き）

タ イ プ (型)		内 要	小学校 (N=113)	中学校 (N=101)	高 校 (N=112)	計 (N=326)
質問型	質問型 話好き型	やり方や不明な点を聞く。いろいろと質問する。 運動の話が好きでよくしゃべる。	6	19 1	13 1	38 1 39
即行型	実践型 機敏型	卒先行動家。実践家。 てきぱきと動く。機敏さ。態度で示す。	8 2	8 3	3 5	19 5 24
自己顯示型	自己顯示型 プライド型	自己を顯示する。目立ちたがりや。 自尊心が高い。自慢。	7 2	6 1	7 3	20 3 23
明朗型	明朗快活型 完全主義型	明朗快活。陽気。楽天家。温和。 完全主義。	6	4 1	11 1	21 1 22
特定種目型	特定種目中心型 興味優先型	特定種目だけ頑張る。 興味ある運動を優先する。	4 1	4 1	12	20 2 22
活動型	活動型	活動的。元気。外向的。活発。	10	3	3	16 16
経験型	運動経験豊富型 過去経験良好型	運動経験が豊富である。 過去に良い成績をおさめている。	7	1	7 1	15 1 16
個人型	独自達成型 マイペース型	自己の力で達成。独力。ひとりで。 マイペース。	2 1	3	8 1	13 1 14
承認期待型	承認期待型 周囲からの激励型	他からの承認を期待する。 人から激励されるのを望む。	1	6	7 1	13 1 14
その他の	実力發揮型 自己鍛練型		9	11	9	29 29
計			299	292	330	921 921